

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 藻利 衣恵	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>(1) 平成 31 年度高崎経済大学特別研究助成金を獲得した。</p> <p>(2) 2019 年 8 月開催のアメリカ会計学会年次大会に投稿された論文のディスカッサントを 2019 年 8 月 14 日に担当した。</p> <p>(3) 現在、15 年ほどの研究のとりまとめを行っている。その進捗状況に関する報告を、8 月に東京大学研究会、11 月に早稲田大学会計研究所研究セミナー、12 月に名古屋大学現代資本研究会と監査理論研究会で行った。</p> <p>(4) 一昨年度の成果の説明書(6)と昨年度の成果の説明書(4)に関する報告を、12 月の監査理論研究会で行い、監査の先生方から意見を聴取した。</p> <p>(5) 本年度の成果の説明書(3)と関連して、「株式報酬費用認識の要否」と題する論文が、『ディスクロージャー&IR』第 13 号(招待あり)に掲載され、本年 5 月に刊行される予定である。</p> <p>(6) 二年前の成果の説明書(4)、一昨年の成果の説明書(2)、昨年度の成果の説明書(3)に記載した分担執筆原稿「自己株式に関する会計史」と「ストック・オプションに関する会計史」が、野口昌良・清水泰洋・中村恒彦・本間正人・北浦貴士編著『会計のヒストリー80』として、2020 年 3 月に刊行された。</p> <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none">● 講義<ul style="list-style-type: none">➢ 財務会計 I・II昨年度に引き続き、google classroom を取り入れ、演習問題やレポートに関する提出状況の可視化・提出・添削ができるようにした。<ul style="list-style-type: none">➢ 上級簿記上級簿記では、google classroom を取り入れ、演習問題やレポートに関する提出状況の可視化・提出・添削ができるようにした。また、google classroom を用いて、模範解答を配布するようになった。● ゼミ 全学年に対して、google classroom を取り入れ、毎週の演習問題に関する提出状況の可視化・提出・添削ができるようにした。 <ul style="list-style-type: none">➢ 基礎演習(2年): 今までの経験を踏まえ、スムーズに進んでいる。➢ 演習 I <ul style="list-style-type: none">● 『企業会計入門—考えて学ぶ』の章末 Discussion の解答例を、現在作成している。● 昨年度に引き続き、2 グループでグループ研究を行った。その結果、日経インナー大会は予選落ちに終わったものの、その際に高レベルなプレゼンテーション作成・発表能力を獲得し、うち 1 班が 2 度目の経済学部プレゼンテーション大会で優勝を受賞、また、3 度目の明治学院大学(山田ゼミ)・跡見学園女子大学(山下ゼミ)・國學院大學(中田ゼミ)とのインターゼミでは、うち 1 班が優勝した。また、本年度は、2 月に早稲田大学商学部大鹿ゼミとのインターゼミも早稲田大学で行った。<ul style="list-style-type: none">➢ 演習 II自由テーマの論文を全員が提出し、2 月卒論発表会・謝恩会を行った。また、卒業論文集は、学内で図書館に所蔵し、ホームページでも掲載した。	

<ul style="list-style-type: none"> ● その他 研究・教育関連の知識を深化させるべく、証券アナリスト試験（2次）を2019年6月に受験した。
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生生活相談員 ● 教職課程運営委員 ● 高崎経済大学生協同組合 特定監事（大学生協事業連合大学生協教職員交流セミナーへの参加を含む） ● 大学生協事業連合東京ブロック学生委員 <p style="text-align: right;">ほか</p>
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究のとりまとめを完了し、未刊行の論文5点を投稿し、本年度中の学位申請を目指す予定である。 <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学外で学内と同じ担当科目の非常勤講師も行うため、その経験も生かし改訂させながら、例年通り、行う。